

あなたの“電子納品” 大丈夫ですか？

Powered by
(社)全国地質調査業協会連合会
(NPO)地質情報整備・活用機構

2010年8月から施行された

“電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】”では、
成果品の提出時に「**ボーリング位置情報チェックシート**」の
提出が求められています

ボーリング位置情報チェック結果(例)

ボーリング位置情報のチェックシートの例を次に示します。

(1) 基礎情報

調査年度	平成21年	月	日
調査地域	東京都		
ボーリング番号	平成 年 月 日	平成 年 月 日	

(2) チェック結果の確認

調査方法	☐ 成果品検査前	☐ 成果品検査時	☐ 成果品検査後
調査方法	☐ 掘削方法	☐ 掘削方法	☐ PC上でツールによる確認
調査方法	☐ 掘削方法	☐ 掘削方法	☐ PC上でツールによる確認
調査方法	☐ 掘削方法	☐ 掘削方法	☐ PC上でツールによる確認

(3) 位置情報チェック

ボーリング番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
調査方法	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

(4) チェック方法

位置情報チェックツール等 ☐ 全地連HP公開ツール ☐ その他

(5) チェック結果

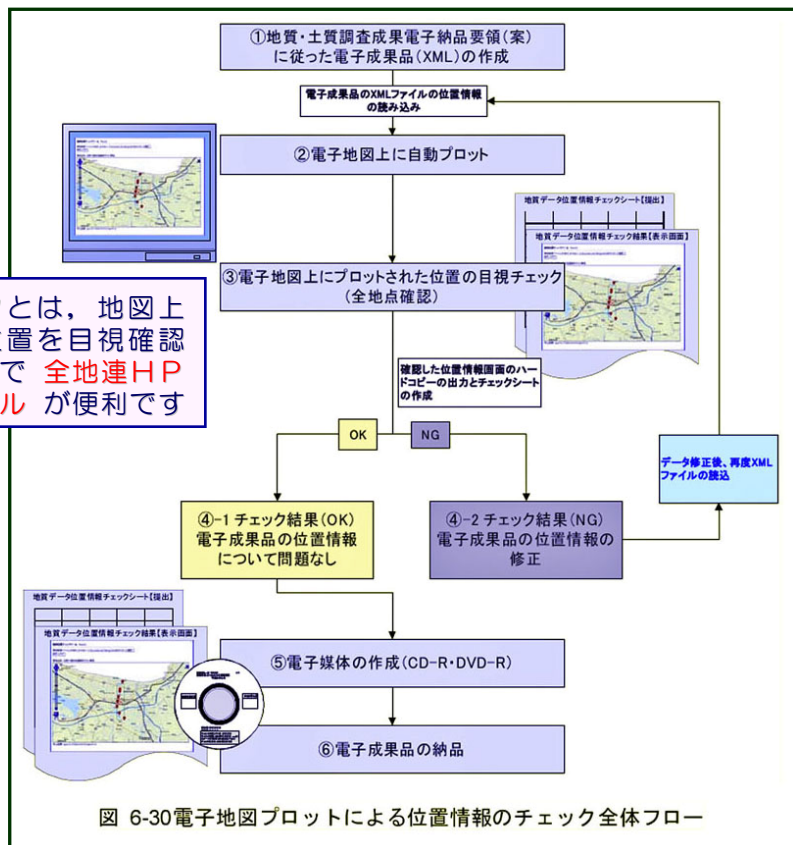
ボーリング位置情報チェック結果(画面) 例

チェックとは、地図上で掘削位置を目視確認することで **全地連HP公開ツール** が便利です

全地連HP公開ツールとは、
電子地図を利用して、位置
座標を目視確認できる
3種類のフリーツールです

ここには、目視確認した画面
の**ハードコピー**を貼付けます

貼付け

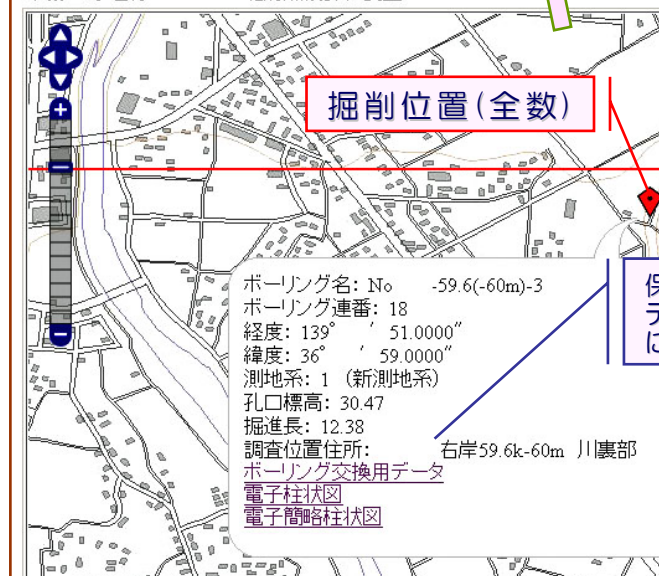


電子納品CD-Rの内容確認ツール Ver.2.0

(社)全国地質調査業協会連合会

●業務/工事管理ファイル(INDEX_D.XML / INDEX_C.XML): F:\電子納品Copy\30\0005_3056

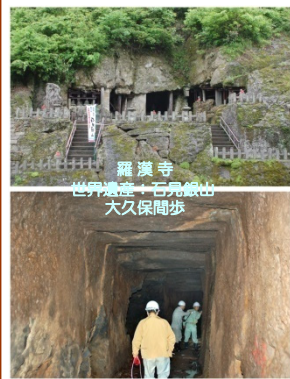
業務/工事名称: 堤防点検詳細調査



・提出直前の CD-R や HDD 内の
成果品をチェックするためのツール
・パソコンにコピーして使用します
・アクセス先: <http://www.web-gis.jp/>

保存されている
データを容易
に引き出せます

ボーリング交換用データ(XML)を柱状図に図化
するフリーツールはこちら
URL: <http://www.zenchiren.or.jp/new/040809.html>



あなたの“電子納品” 大丈夫ですか？

Powered by
(社)全国地質調査業協会連合会
(NPO)地質情報整備・活用機構

電子納品運用ガイドライン(案)【業務編 他】「4. 事前協議 ⇨ 4.1 協議事項」
には『事前協議 にあたっては、電子納品に関する有資格者※⁸の活用
についても検討してください。』という記述があります。
同(案)の脚注：※⁸：「電子納品に関する有資格者」とは、技術士（電気電子部門及び
情報工学部門）、RCE（Registered CALS/EC Expert）、RCI（Registered CALS/EC
Instructor）、SXF 技術者、**地質情報管理士**等を指します

地質・土質調査での 事前協議事項

- ア) 業務中の情報交換方法
- イ) 電子成果品とする対象書類
- ウ) **電子化が困難な資料の取扱い**
- エ) **データシート交換用データの取扱い**
- オ) 検査の方法
- カ) その他の事項

出典：電子納品運用ガイドライン(案)【地質・土質調査編】

Q1：文献地質図など紙で入手した図面 は、どの
ような形で 電子納品 したらよいでしょうか？

Q2：データシート交換用データ とは、いったい
どのようなデータ で、実際の 電子納品 はどう
やって行えばよいのでしょうか？

A1：スキャナ入力により画像データを作成。**画像
データ** または**画像データを埋め込んだ CAD デ
ータ**を納品する。

A2：データベース化やデータ交換を目的とした土質
試験及び地盤調査データのこと。原則として
XMLデータとして納品 するが、ソフトウェアが
市販されていない場合などでは、電子データシ
ート(PDF)のみを提出するか、それに加えてオリジ
ナルデータファイルを納品するかのいずれか。

⇨ 事前協議 で決定

- ・対応ソフトが市販されていないなど、電子
納品が不可能なケースもあります。事前協
議では、**発注者の正しい理解**を得て下さい。
- ・**地質情報管理士資格試験**では、このような
事前協議への理解度も出題します。
- ・電子成果品作成から、電子媒体を提出する
までの流れと**品質管理方法**を正しく理解し
て作業を進めるには、**地質情報管理士の資
格取得**が早道です。



地質情報管理士について：http://www.zenchiren.or.jp/jouho_kanrishi/index.html

位置情報ツールについて：<http://www.web-gis.jp/>